

令和元年度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検
及び評価報告書(平成30年度実績)

令和元年6月
金武町教育委員会

はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに地域住民への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図り、(同条第2項)教育委員会の主な活動状況や実施状況についてまとめ報告するものです。

点検、評価の具体的な項目や指標、議会への報告や公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされていることから、下記の内容、方法で行うことにしました。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況報告

教育委員の任命状況、教育委員会議、主催行事や学校行事への出席、参加状況、研修会や懇談会への出席、参加状況について報告します。

3 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、第5次金武町総合計画との整合性を図り、平成30年度における主な事務事業として、学校教育課及び社会教育課の事業内容についての評価を行っています。

4 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、平成30年度の施策や主な事業等について、事業内容及び目的を示すとともに事業効果、課題等について検証し総合判断を行い今後の推進方策や方向性について、「継続・推進・規模拡大・規模縮小・廃止等」について示しました。

5 外部有識者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性を確保するとともに今後の取組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

教育委員会の活動

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されています。委員は5名で組織され、その合議の下、学校その他教育機関の設置、その管理及び廃止に関する事、教育財産の管理や学校の教育課程、学習指導、生徒指導等に関する事など教育行政の執行管理を行っています。

通常の業務については、町長に任命された教育長を通して業務の執行管理を行いますが、教育行政の基本的な方針や委員会規則や規程の制定、学校や教育機関の設置及び廃止、教育機関の職員の任免や事務事業の評価などは教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

(2) 教育委員の任命状況

教育委員は、町長が議会の同意を得て任命し、その任期は4年となっています。平成30年度については、任期満了により与那城厚委員が再任されています。教育長職務代理には、与那城厚委員が指名されています。

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	在任期間	
委員長	仲間 聡	平成28年 4月 4日～平成32年 4月 3日	平成 24 年	2期3年	平成24年度 就任
委員	金城 栄	平成27年 6月27日～平成31年 6月27日	平成 27 年	1期2年10ヶ月	平成27年度 就任
委員	油井 かずみ	平成29年 6月26日～平成33年 6月25日	平成 29 年	1期1年10ヶ月	平成29年度 就任
委員	与那城 厚	平成30年12月20日～令和 4年12月19日	平成 26 年	2期 4ヶ月	平成26年度 就任
教育長	比嘉 貴一	平成29年 6月26日～平成32年 6月25日	平成 25 年	2期1年10ヶ月	平成25年度 就任 H25から教育長

(3) 教育委員会の会議

教育委員会は金武町教育委員会会議規則に基づいて教育委員会会議を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、教育委員会の主催する事業や町の各種行事、各種研修会などにも積極的に参加しています。

平成30年度の教育委員会の会議の開催状況は次のとおりです。

会議の名称	日時	場所	出席者数	案件等
教育委員会会議	平成30年 4月3日 16時30～	教育委員会 会議室	5人	1. 金武町立図書館長の任命について 2. 金武町立図書館協議会委員の任命について

会議の名称	日時	場所	出席者数	案件等
教育委員会議	4月24日 14時～	教育委員会 会議室	5人	1. 金武町県費負担教職員の自家用車の公務使用に関する基準について 2. 金武町ハワイ短期留学派遣事業実施要綱について 3. 金武町町費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正する規則について
教育委員会議	5月16日 14時～	教育委員会 会議室	5人	1. 金武町総合教育会議の協議事項について
教育委員会議	7月23日 14時～	教育委員会 会議室	5人	1. 平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について 2. 平成31年度使用小学校教科用図書(「特別の教科 道徳」を除く)の採択について 3. 平成31年度使用特別支援関係教科用図書の採択について 4. 平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書(平成29年度実績)について 5. 臨時代理の承認について
教育委員会議	8月29日 14時～	教育委員会 会議室	4人	1. 平成30年度金武町一般会計補正予算(第3号)について 2. 金武町教育委員会職員人事の承認について
教育委員会議	11月26日 13時30分～	教育委員会 会議室	5人	1. 平成30年度金武町一般会計補正予算(第4号)について 2. 学力・学習状況調査の結果について 3. 教育委員会表彰の報告について 4. 総合教育会議について
教育委員会議	平成31年 1月4日 15時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 金武町教育委員会教育長職務代理者の指定について

会議の名称	日時	場所	出席者数	案件等
教育委員会議	1月11日 14時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 旅館業許可に係る意見について
教育委員会議	2月8日 11時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 教職員の人事異動発令(内申)について
教育委員会議	2月18日 16時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 平成31年度公立学校管理職人事異動の内申について
教育委員会議	2月25日 10時30分～	教育委員会 会議室	5人	1. 教職員の人事異動発令(内申)について 2. 金武町町費負担教員の任用等に関する規則の一部を改正する規則について
教育委員会議	2月26日 15時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 平成30年度金武町一般会計補正予算(第6号)について 2. 平成31年度金武町一般会計予算案について 3. 金武町教育委員会職員人事異動の承認について
教育委員会議	3月19日 16時00分～	教育委員会 会議室	5人	1. 旅館業許可に係る意見書について 2. 学校におけるLGBTへの配慮に関する指針について

会議の名称	日時	場所	出席者数	案件等
教育委員会議	3月26日 15時～	教育委員会 会議室		1. 金武町社会教育委員委嘱について 2. 金武町立中央公民館運営審議会委員について 3. 金武町立図書館協議会委員の委嘱について 4. 金武町文化財保護審議会委員の委嘱について 5. 金武町史編さん委員の委嘱について 6. 金武町スポーツ推進委員の委嘱について 7. 金武町立中央公民館長の任命について 8. 金武町社会教育指導員の委嘱について 9. 平成31年度長期休業中の事業実施について(中学校) 10. 平成31年度振替授業実施について(小中学校) 11. 平成31年度振替保育実施について

なお、教育委員会で審議された案件を分類すると、次のようになります。(議事概要の承認、業務報告等定型的なものは除く)

条例関係	規則・規程・要綱等	人事関係	その他	合計
1件	3件	5件	30件	39件

(4) 主催行事や学校行事への参加状況

教育委員は、本町の教育行政の最高意志決定機関として、教育委員会の主催等行事や学校行事など、各種行事への積極的な参加をとおり、取組状況の把握に努め、その結果を教育行政に反映させています。

平成30年度における主催行事や学校行事への教育委員の出席状況は、次のとおりです。

期 日	場 所	行事等の名称	出席・参加者(敬称略)
平成30年4月2日	教育委員会会議室	平成30年度職員辞令交付式	比嘉貴一
4月4日	金武町立中央公民館	平成30年度教職員辞令交付式	全委員
4月10日	金武中学校体育館	各小学校・中学校入学式	全委員
	中川小学校体育館		与那城厚、油井かずみ
	金武小学校体育館		比嘉貴一、金城栄
	嘉芸小学校体育館		仲間聡
4月11日	中川幼稚園	幼稚園入園式	油井かずみ
5月21日	金武小学校	幼稚園・小学校・中学校訪問	全委員
5月22日	金武中学校		
5月23日	中川幼稚園・小学校		
5月24日	嘉芸小学校		
9月9日	金武中学校運動場	中学校運動会	全委員
9月23日	中川小学校運動場	各小学校(幼稚園)	油井かずみ
	金武小学校運動場		比嘉貴一、金城栄、与那城厚
	嘉芸小学校運動場		仲間聡
11月18日	中川小学校体育館	学習発表会	油井かずみ
	金武小学校体育館		比嘉貴一、与那城厚、金城栄
	嘉芸小学校体育館		仲間聡
平成31年3月9日	金武中学校体育館	中学校卒業式	全委員
3月13日	中川幼稚園	幼稚園卒園式	油井かずみ
3月15日	中川小学校体育館	各小学校卒業式	油井かずみ
	金武小学校体育館		比嘉貴一、金城栄、与那城厚
	嘉芸小学校体育館		仲間聡

(5) 研修会や懇談会

教育行政の推進には教育委員の資質向上は必要不可欠であり、各種研修会への積極的な参加や他市町村の状況把握等、教育委員としての知識向上に努めています。平成30年度についての研修会や懇談会等への出席状況は次のとおりです。

日 時	場 所	研修会等の名称	出席・参加者(敬称略)
5月8日～9日	宮古島市JTAドーム宮古	第63回沖縄県市町村教育委員会連合会総会及び研修会	与那城厚、油井かずみ、仲間聡、金城栄
5月9日～11日	東京都銀座プロッサム	第60回全国町村教育長会総会並びに研究大会	教育長
6月1日	東村コミュニティセンター	平成30年度国頭市町村教育委員会協議会総会	全委員
10月16日～18日	大阪・京都市教育委員会	国頭地区市町村教育委員会協議会教育長部会教育視察	教育長
10月17日	那覇市パレット久茂地	沖縄県市町村教育委員研修	全委員、教育長
			全委員、教育長
11月22日	東村コミュニティセンター	平成30年度国頭地区市町村教育委員会協議会研修及び情報交換会	全委員、教育長
2月1日	沖縄県庁4階講堂	平成30年度市町村教育委員会教育委員・教育長研修会	全委員、教育長

(6) 総合教育会議

日 時	会議の名称	協議事項	出席
平成30年5月22日	金武町総合教育会議	平成30年度施政方針の教育施策及び関連予算の説明について 認定こども園に関する教育委員会の関わりについて	全委員、町長、教育長
平成30年11月26日	金武町総合教育会議	中川小学校複式学級編成対策について 少人数学級編成事業の見直しについて 英語教育課程特例校の見直しについて	全委員、町長、教育長

主な事務事業の点検・自己評価

(1) 評価基準

「事業実績・効果」や「自己評価並びに今後の課題」をもとに、総合判断において今後の事業展開について事業の必要性、妥当性、実効性等を考慮したうえで自己分析し、4段階で評価しました。

- A 事業内容の成果が高く、事業効果を最大限に達成し得ることができた。
- B 事業内容の成果及び事業効果については概ね達成し得ることができた。
- C 事業内容の成果が低く、事業効果についても達成し得ることが少ない。
- D 事業内容の成果が最も低く、事業効果も達成し得なかった。

(2) 事務事業評価シート

1 学校教育課

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断(継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
1	金武町ハワイ短期留学派遣事業	<p>中学2・3年生、高校生を対象に、夏休み期間中にハワイへの短期留学派遣事業を実施し、ハワイの文化や移民の学習、現地講師による英語の授業、社会見学、体験活動、金武町人会の家庭でのホームステイとおして、幅広い視野と国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成並びにハワイと金武町のネットワークの構築を図る。</p>	<p>現地講師による語学研修や金武町人会の方々との交流、金武町人会宅でのホームステイなど異文化での体験を通し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、金武町人会との絆を深め国際的な視野を持つ国際性豊かな人材の育成を図ることができた。</p>	<p>課題: 現地での語学研修はペアでの英会話学習を中心とした活動となるので、派遣生徒は奇数人数ではなく偶数人数の方が望ましい。 解決方法: 派遣生徒を5人から6人へ増。</p>	継続実施	A
	平成30年7月25日～平成30年8月14日					
	アメリカ合衆国ハワイ州					
2	「金武町教育の日」式典	<p>町民の教育に対する意識と関心を高めるとともに、家庭、地域、学校、行政、関係機関が互いに連携し、地域全体で子どもたちを守り育てる環境づくりへの取り組みを町民全体で推進し、町における教育の充実と発展を図る。</p>	<p>「金武町教育の日」に式典及び特別公演を実施した。式典では、文化的・体育的活動や社会教育に関する諸活動において功績があった方々に対し、教育委員会表彰8名・学校教育関係表彰1名・社会教育関係表彰1名、1団体)特別公演では、琉球舞踊(組踊り)鑑賞教室が行われた。</p>	<p>教育の日式典において、優れた活動を行なった方々に対し、その業績を讃え表彰できたことは、受賞者の士気向上につながると考える。表彰を行う際には、事前に関係機関や各種団体に推薦依頼をおこなっているが表彰対象者の漏れがないよう事務局のほうでも情報収集し、表彰を実施していきたい。</p>	継続実施	A
	平成30年11月1日					
	金武町立中央公民館					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断(継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
3	金武町子ども議会	次代を担う子どもたちに金武町の行政に対する質問や提案などの体験をとおして、金武町議会の役割やしきみを理解し、社会の一員としての自覚をもち、行政や政治への役割について関心を深めさせる。	児童生徒を対象に16名で子ども議会を実施。各小・中学校で選出された子ども議員へ平成29年度の子どもの議会の視聴を行い、子ども議員の関心や意欲を高めるのに繋がった。一般質問後の答弁について再質問のできるよう取り組んだことにより張り詰めた緊張感の中充実した質問ができた。生徒の中には「また、やってみたい」という感想があった。	子ども議会で体験した児童生徒にとっては貴重な体験を得られたと思う。今後とも子供たちが行政に対する疑問等を訴える機会になるよう早めに日程等について教員と調整していきたい。	継続実施	A
	平成30年11月8日					
	金武町議会議場					
4	学校給食(食育)推進事業	学校給食栄養士による児童、先生食育講話指導助言、朝ごはんの大切さ、給食の歴史。	中川・金小学校児童を対象に、栄養士による食に関する講話(特に朝ごはんの大切さ、給食の歴史)を実施。授業形式で児童との対話を行った。朝ごはんを食べる・食べない、それぞれの状態を知ることにより、学校での生活にどのような影響があるか、体を作る大切さなど、朝ごはんや給食に対して基礎知識を理解させることができた。また、学校だけでなく、家での食事に対する理解、食品の安全知識、衛生面、食事マナーなどを考えてもらうことができた。	児童生徒に対し、栄養士による講話を行うことにより、体を作るために朝ごはん、給食に対する基本的な知識を理解してもらうことが出来たと思う。今後の課題としては、小学校と連携しながら各学年ごとに基本的な食の事業ができればと思います。	継続実施	A
	平成30年4月1日 平成31年3月28日					
	金武町内					
5	中川幼稚園預かり保育事業	地域の実情や保護者の子育て支援の一環として中川区において預かり保育を実施する。	就労している保護者等への子育て支援ができた。また、通常利用していない園児の保護者の出産や介護等での緊急的な預かりに対しても一時預かり保育を利用してもらい効果的な支援をすることができた。	当年度から土曜日の預かり保育を実施し、さらに保護者への子育て支援をすることができた。また、幼稚園卒園後から年度末までの期間の受け入れも実施し、園児の安心して過ごせる居場所を確保することができた。	継続実施	B
	平成30年4月12日 平成31年3月29日					
6	金武中学校通学費助成事業	中川・伊奈・屋嘉区に住んでいる金武中学校生徒の保護者に対して、通学にかかるバス運賃を助成する。	対象者124人助成者数124人全員に定期券を支給。バス通学を余儀なくされている地区に住む保護者の負担を軽減することができた。	対象者124人に対して定期券を支給することができ、バス通学を余儀なくされている地区に住む保護者の負担軽減することができた。	継続実施	A
	平成29年4月～ 平成30年3月					
	金武町教育委員会					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断(継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
7	学校給食費助成事業	子育て支援の推進を目的に、町内の幼稚園・小学校・中学校に在籍する3人以上の子どもを持つ保護者を対象に、給食費を補助する。	幼稚園児7名、小学生789名、中学校361名の給食費を補助し、子育て支援の一助になった。	補助金の交付申請書を提出しない、申請書をなくすなど申請書の提出を行わない保護者がいたので、周知方法を工夫し提出しない保護者へ直接電話での確認や訪問など行う。	継続実施	B
	平成30年4月～平成31年3月					
	金武町教育委員会					
8	英語教育指導員派遣事業	中川幼稚園・小学校・中学校に英語教育指導員を配置し、担任とT・Tによる授業の実践を通して、英語コミュニケーション能力を図る。	外国人英語指導助手小学校2名、中学校2名 計4名日本人英語指導委員英語指導助手小学校2名 計2名英語コーディネーター 教育委員会1名配置。英語特有の発音やイントネーションを直に聞くことで、英語に親しみを持つことができた。	英語教育指導員を中川幼稚園・小学校・中学校に配置することにより、外国語の発音や基本的な表現能力の育成を図ることができ、また異文化に対する興味、関心を持つ園児児童生徒が増えた。	継続実施	A
	平成30年4月～平成31年3月					
	中川幼稚園、小・中学校					
9	金武中学校受験生支援教室	希望を持って高校受験に臨めるように受験生を支援する。国語、数学、英語の3教科で、講師7人による支援	昨年と比較して出席状況と利用マナーが向上し、高校受験合格に向けた基礎学力の定着に寄与できたと考えられる。合格者は39名で合格率100%であった。	講師である大学生の講義修了時間を考慮しなければならないため、教室の開始時刻が午後7時に変更となった。	継続実施	A
	平成30年9月27日～平成31年2月28日					
	旧金武地区図書館2階					
10	特別支援教育支援員等配置事業	町内各小学校・中学校において支援を要する幼児児童生徒に対し、特別教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。	小学校13名、中学校5名、計18名の特別支援教育支援員を各学校へ配置することにより、支援を必要とする園児児童生徒に対し、適切な支援をすることができた。	年々、支援を要する幼児児童生徒が増加してきていることから、支援員の人材確保及び支援を必要とする幼児児童生徒の実態と支援状況を把握し、ニーズに即した効果的な配置が課題である。	継続実施	B
	平成30年4月～平成31年3月					
	町立小・中学校					
11	就学援助事業(要保護・準要保護)	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図る。	申込者306人認定者数214人の児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、保護者の負担を軽減することで、教育の機会均等が図られた。	申請書やお知らせを各家庭に郵送することで、就学援助の周知強化を図り、申請や相談等が増加している。また、援助費の入学前支給の要望があり、今後の課題として取り組んでいきたい。	継続実施	A
	平成30年4月～平成31年3月					
	金武町教育委員会					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断(継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
12	育英会事業	向学心を持ちながら経済的理由により就学困難な者に対し、必要な学資の貸付を行い、社会的に有用な人材を育成することを目的とする。	貸付希望者新規5名に貸与することができ、修学の支援を行うことができた。 償還金額の減額等はあるものの償還率は維持している。	長期滞納者への通知や保証人への通知等を行ってきたが、未だに返還が見られない者もいる。未納者には通知文だけでなく電話連絡や家庭訪問等を行い償還を促す。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月29日					
	金武町教育委員会					
13	教育相談員配置事業	生活(家庭・学校・社会)適応上の問題や心理的な問題などを持つ児童生徒に対して教育相談を行い、生活に適応し自己指導ができるように、指導助言をする。その際、家庭と学校との橋渡しの役割を担い、側面的な手助けをする。また、保護者や教職員に対しての相談・支援を行う。	SSW(スクールソーシャルワーカー)による不登校支援の教室を委員会内に開設し、支援を行った。児童生徒が5名在籍し、支援の結果、教室に通う前に比べて改善された。SSWが教師や生徒の相談の窓口となり、支援を実施した。SSWや特別支援教育推進委員が、毎週開催される学校での部会にも加わることで、学校側との連携を強化できた。	問題行動や不登校等において、相談やケース会議の開催なども積極的に行い、学校との連携で早期に対応できた。家庭的な問題を抱える子への具体的な支援・関係機関との連携が必要。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	町立幼及びこども園・小・中学校、教育委員会					
14	学びの基礎力アドバイザー事業	金武町内の保育園、こども園、幼稚園、小学校、中学校との連携体制を構築する 保こ幼小中の連携事業を通して、小、中学校教育への円滑な移行を図るため、学びの基礎力を育むと共に、幼児、児童、生徒の教育の充実を図る	保こ幼小中合同研修会が全員参加で行うことができた。 中学校家庭科保育領域とつなぎ、町内の園児を参加させた。保育体験を実施できた。 小中連携を中学校提案の形(模擬授業体験)で実施できた。 本事業を学推と連携し取り組めるようにいた。	公開保育・授業の実施が安定してきたが、教育課程の違いから小中職員の参加が難しい。 こども園へ移行した後の、アプローチカリキュラムの実施状況が見えない。 幼児教育連携体制を子ども支援課と共に進めていく。 幼児教育における理解促進を再度行う。	継続実施	B
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	町内小中学校、幼稚園、保育所(園)、認定こども園					
15	教育委員会広報「くくむ」編集(発行)事業	金武町教育委員会広報「くくむ」は、学校教育や社会教育に関する取り組みや成果、児童・生徒等の活躍を紹介する等、教育委員会の情報を広く町民に発信し、教育への関心と理解、協力を得るため、年に13回発行するものである。	平成30年度においては、学校行事や社会教育行事の取り組みや児童・生徒が輝かしい功績等を重点的に町民に発信することができた。	今年度は、町内児童生徒が表彰を受けの事が多く、多くの児童を記事で取り上げることができた。「くくむ」は、ただの情報誌ではなく、一人一人の功績を町民に知ってもらい、掲載された側、読書側のどちらにも生涯学習の観点から良い影響を与えられるような広報紙を目指していく。	継続実施	B
	平成30年4月12日～平成31年3月31日					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断(継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
16	小中学校少人数(35人)学級編成事業	公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の改正に伴い、市町村独自で教員を任用し、現行の学級編成基準によらない柔軟な学級編成が可能になったことにより小中学校における35人の少人数学級編成に係る学級増について、学級担任として臨時的に任用し教育環境の充実を図る	現行の1クラス40人学級編成を、1クラス35人の少人数学級編成することで、きめ細かな学習環境が整備され、きめ細やかな教育が展開できることで、学力の定着、向上が図られた。	教諭の採用条件については、教諭免許取得者となるため、人材確保と町雇用の「教諭」が県雇用の「教諭」に任用された場合に手当等の不利益が生ずる。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	各小中学校					

2 社会教育課

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
1	金武町放課後子ども教室事業	地域の活動拠点である公民館に子どもたちが学校帰りに立ち寄り、学びあう空間、時間をつくる。多様な体験活動プログラム等を子ども達に提供し放課後の子ども達の居場所を確保する。また、地域の大人が見守り、安全安心な環境づくりをしながら、地域のきずなを深める。	当該事業は国・県補助事業であり、各小学校校区を実施単位に、年間当たり35回の開催要件を達成できた。 各開催場所によって参加人数は概ね20～30名であり、教室の活動内容は食育教室や工作体験等の各種体験を企画・実施した。 事業効果として、様々な体験活動を通じて、地域の子どもと大人(地域ボランティア)が触れ合えた点等が挙げられる。	当該事業は平成29年度からスタートした事業で、事業を実施していくなかで多くの課題もあった。 特に、中川地区を除く他地区の教室ではボランティアスタッフが足りない状況であったが、徐々に増えH30年度は安定して各教室へ配置できた。しかし、学童(放課後児童健全育成事業)に参加している児童以外の子どもたちの参加が少ない点は改善方を要するため、全児童・保護者及び町民に対して、放課後子ども教室の広報周知に努める必要がある。	継続実施	A
	平成30年4月～平成31年3月					
	各地区公民館					
2	家庭教育講座	平成30年度の主な講座内容として、学校と連携して、各小中学校で「情報モラル教室(インターネット)」を開催した。また、嘉芸小学校、中川小学校では日曜参観の中で、命の大切さを学ぶため、「誕生学」講演を行った。	「情報モラル教室」ではSNSなどスマートフォン・インターネットによるいじめ・トラブルの事例紹介、子どもたちが被害者・加害者にならないための対策等について学んだ。 出産シーンや二次性徴に関する講演を通し、児童からは「生まれるシーンを観てとても感動した」、等の言葉を学校生活で問題のある子からも聞いた。二次性徴については、身体の変化は成長するために必要なことで、決していじめたり馬鹿にしたりしないよう、講演をとおして生徒に理解いただいた。	前年度に引き続き、各小・中学校・PTAと連携して日曜参観等の機会に家庭教育講座を実施し、児童生徒だけでなく保護者も参加しやすいよう事業効果向上に努めた。 全体に保護者の参加人数が低調であった点は、学校側とともに広報等の改善方策について検討していきたい。	継続実施	A
	平成30年4月～平成31年3月					
	町内小・中学校					
3	平成31年金武町成人式	町主催による式典及び特別講演、町青年団協議会主催の祝賀会の二部構成で、毎年1月5日に開催。 当該年度の新成人は157名、うち式典への参加者数は120名。	町青年団協議会と連携を図り、新成人代表数名で構成する実行委員及び祝賀会を主催する町青年団協議会と6月から企画・調整を重ねた。 一部の新成人による迷惑行為等の懸念事項について実行委員会を中心に防止に努め、式典当日はトラブルもなく進行することができた。今回の特別講演では、MASA・MAGIC氏を講師に招き、新成人に対し「夢を持つことの大切さ」等をマジックを通して講演いただいた。	今回の成人式も暴走・迷惑行為も無く、式典自体をスムーズに運営できた。 課題としては、成人式終了後に改造バイクで新成人が国道を走行していたので、改善策を検討したい。	継続実施	A
	平成31年1月5日(土)					
	金武町立中央公民館					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
4	町立中央公民館事業	公民館講座の企画・運営及びサークル活動・利用者団体の育成・支援を行い、本町の生涯学習振興及び”薫り高い教育文化のまちづくり”に繋げる。	平成30年度は、計18講座(趣味・教養分野:13講座、生活・健康分野:4講座、夏休み等企画:1講座)を開催し、合計で148回実施した。併せて、5館合同事業(平和学習、イノ体験等)、中央公民館まつり(ぬちぐすい・ま～さむんフェア)などを企画・実施した。	公民館講座をはじめとする事業及び地区公民館との連携充実化を図り、町民ニーズの把握に一層取り組んでいく必要がある。町民の声に対応する為に、他市町村で行っている事業等も積極的に参加し、調査研究を行っていく。	継続実施	B
	平成30年4月～平成31年3月					
	町立中央公民館					
5	中央公民館公演事業	照明設備等の機能高度化を実施した町立中央公民館大ホールにおいて、自主公演事業を企画実施し、優れた芸術文化に町民が接する機会を提供することで本町の文化振興及び”薫り高い教育文化のまちづくり”に寄与する。(平成27年度から実施)	平成30年度の中央公民館自主公演事業は、琉球舞踊及び沖縄民謡による「創作舞踊新華volume2」を企画、平成31年2月23日(土)に実施した。初めて昼・夜の2回公演で開催し、町内外から約700名が来場した。	住民ニーズの多様化もあり、地域において公民館に求められる社会的な要望も高度化・複雑化の傾向にあるなか、中央公民館での自主公演事業は文化振興や社会福祉など”薫り高い教育文化のまちづくり”につながる事業であると考えており、今後も継続充実を図りたい。	継続実施	A
	平成31年2月23日(土)					
	町立中央公民館					
6	町内遺跡発掘調査等	文化庁国庫補助(国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金)による町内遺跡発掘調査等(埋蔵文化財予備調査)。当該年度の主な業務は、下記のとおり。 ・億首川周辺古墓悉皆分布調査 ・キャンプ・ハンセン内埋蔵文化財予備調査(踏査・試掘調査) ・民間開発等に係る埋蔵文化財照会対応(試掘等)	前年度の億首川右岸につづき、平成30年度は左岸地区約21,000㎡を対象に調査を実施、約70基の古墓を確認した。 キャンプ・ハンセンへの米軍施設移設案件に伴う遺跡有無確認目的の予備調査(踏査・試掘調査)も実施するとともに、基地内埋蔵文化財の把握及び保護対応が喫緊的課題となることから、今後の試掘調査計画作成等のための基礎図面を作成した。	キャンプ・ハンセンへの施設移設の受け入れ表明により、当該年度の事業内容を一部変更したが問題なく事業を終了できた。 嘉手納以南の米軍提供施設統合計画に伴うキャンプ・ハンセンへの施設移設が今後本格化することから、文化財専門職の配置も含め分掌体制の検討も必要と考える。	継続実施	A
	平成30年4月2日～平成31年3月29日					
	金武町地内					
7	金武バイパス(2工区)埋蔵文化財発掘調査受託事業	国道329号金武バイパス(2工区)に伴う埋蔵文化財発掘調査(記録保存目的)。沖縄総合事務局北部国道事務所からの委託事業。 発掘調査は平成25・26年度に終了、当該年度に報告書作成・刊行(事業の最終年度)。	平成30年8月1日から当該年度の業務に着手。当該年度が事業の最終年度にあたり、資料整理や調査成果の総括、発掘調査報告書の原稿執筆・編集・印刷製本をおこなった。 報告書作成の作業と併行して、一般町民向けに発掘調査成果の公開目的で企画展「ずしがめ総選挙—金武バイパス発掘調査出土品展—」(於 金武町立図書館)を同年8月15日～8月31日の期間で開催した。	発掘調査報告書を刊行し、平成25年度から継続で実施してきた事業を無事終了できた。一般町民向けの企画展にも多くの来場者があり好評を得た。 発掘調査情報の総合的検討、原稿執筆・編集等に多くの時間を要することにより他の係員の業務等に及ぼす影響も少なからずあった。文化財専門職の配置など今後の改善方策の検討を要する。	継続実施	A
	平成30年8月1日～平成31年3月29日					
	金武町地内					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
8	第25回(平成30年度)金武町民俗芸能祭	町内各地で保存継承される民俗芸能を一堂に会し披露・鑑賞する機会を通じて町民が郷土文化の魅力を再認識し、“薫り高い文化のまちづくり”に貢献する。	前年度台風で開催中止となった為、再度、中川区開催で計画。雨天により屋内開催となったが、地元・中川区をはじめ町内外より約250名が来場。中川区で「村遊び」に近い雰囲気の中で町内各区の民俗芸能、県内でも稀少な民俗芸能、芸大出身舞踊家の演舞を披露し、来場者から好評を得た。	雨天により屋内開催に変更したが、数年ぶりの地域開催を成功させることができた。今後も隔年で地域開催(中川区・伊芸区・屋嘉区)をおこない、広く町民が郷土文化に触れる機会を提供したい。	継続実施	A
	平成30年11月3日					
	金武町教育委員会					
9	「金武町史民俗編」編さん事業	地域の民俗や生活文化史に関する調査研究及び資料収集を通じ、町民による地域文化の再認識及び将来世代への継承を促進し、もって“薫り高い教育文化のまちづくり”に寄与することを目的とする。	平成30年度は、前年度から継続して事務局による校正作業及び町史編さん委員会における原稿審議を実施、適宜、事務局による原稿執筆と補足調査も行った。概ね月1回ペースで委員会を開催、提出済原稿については年度中に審議を終えた。 調査員・山里純一氏を講師に文化講座を計2回開催し、町史編さん事業の普及にも取り組んだ。	一部調査員の原稿が未提出となっており、目標としていた「平成31年度中の刊行」がきわめて困難な状況である。補足調査及び原稿修正と並行して、原稿執筆の補助にも注力する必要がある。調査員と事務局の共同執筆とすることも検討する。	継続実施	B
	平成30年4月1日～平成30年3月31日					
	金武町教育委員会					
10	金武町ブックスタート	子育て支援事業の一環としてブックスタートを実施し、金武町に生れたすべての赤ちゃんを対象に読書の喜びやこころの安らかな発達の促進と絵本をとおして親子のコミュニケーションを豊かにすることを目的とする。	ボランティアの協力により、ブックスタートの説明や絵本の読み聞かせに十分な時間をとることができ、スムーズに進めることができた。事業を開始してから10年が経過しており、第2子、第3子を持つ親子にブックスタートとは定着していると思われるが、初めての親子にもブックスタートの主旨を理解してもらい、家庭での読み聞かせを促すことができた。	ブックスタートで絵本を開く体験を通して、絵本の持つ魅力と読み聞かせの大切さを理解してもらうことができた。赤ちゃんとゆっくり心触れ合うひとときを持てるように、今後も継続してブックスタートの意義・内容の周知を図りたい。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	総合保健福祉センター					
11	おはなしの部屋	子どもたちに絵本などを読み・語り聞かせることにより、読書の楽しさを味わってもらおうと同時に図書館に親しみを感じてもらえるよう努める。	第1回目「BOKETTO」、第2回目「全国訪問おはなし隊」、第3回目「ドゥ・カシースン」によるおはなしの部屋を開催した。絵本と音楽の融合で観客を魅了し、子どもから大人まで楽しめる充実した内容であった。また、全国訪問おはなし隊では、約550冊の絵本を積んだのキャラバンカーに、子ども達は目を輝かせ、楽しそうに絵本を選び、いつもとは違う空間で本を読み、読書の楽しさを感じてもらえた。	音楽と絵本の読み聞かせは、実際に楽器の体験ができる参加型となっており、体験コーナーでは、多くの子ども達が積極的に手を挙げて参加し、最後まで飽きることなく読み聞かせを楽しんでいた。今後も、子育て支援の一環として事業を継続し、図書館に足を運ぶ機会を増やし、利用促進に繋げたい。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	金武町立図書館					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
12	図書館講座(2件)	図書館において様々なジャンルの講師を招き、蔵書との関連性、読書への興味・関心の契機を図り、町民の生涯学習への意欲を掻き立て図書館への利用促進につなげることを目的とする。 ①ガラスアート作り講座(大人向け) ②絵本ツアー「絵本でめぐる金武町の偉人 松岡政保」	①夏休み工作教室で子ども達が作ったガラスアート作品が好評で、大人向けガラスアートの開催の要望があり企画した。初めて経験する方が多かったが、元保育士の講師によるわかりやすい指導で、短時間で作品を完成させ、参加者からは、今後も続けたいとの声があり、関連本のリクエストや図書の貸出にも繋がった。 ②今年度作成した絵本「松岡政保」のゆかりの地を巡るツアーでは、読み聞かせの後、実際にオランダ森を訪れると、参加者からは、銅像や碑の存在を知らなかったとの声があり、偉人をより身近に感じ、絵本の内容理解に繋	図書館に気軽に足を運んでもらい親しみをもってもらえるような講座や、男性が参加しやすい講座を検討し、新規利用者の増加に繋がるよう充実した講座を計画していきたい。また、絵本にゆかりのある町内めぐりは、偉人をより身近に感じてもらうと同時に、絵本の理解度が深まる良い機会となっている。次作も同様に絵本ツアーを実施し、町の魅力を伝えながら絵本をアピールしていきたい。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
13	「慰霊の日」資料展	沖縄戦の記憶を風化させないこと、平和を希求することを目的として、慰霊の日資料展を2週間開催する。	今年度は、「金武町における沖縄戦～二度と戦争を起こさせない～」と題し、写真や年表、金武町版平和の礎」や戦時中に使用されていた物品等の展示を行った。町内小中学校の生徒が資料展の見学に訪れたほか、図書館利用者や個人で見学に訪れるなど、多くの方が資料展に来館した。資料展では、戦争関連の図書資料を同時に展示することで、図書の貸出にも繋がった。	図書館職員が作成した独自のパネルや年表の展示資料は、充実した内容となっており、資料展に訪れた方や平和学習で訪れた子どもたちの沖縄戦についての理解が深まったものと認識している。利用者のアンケートには、戦後生まれの若い世代に見てもらいたい、戦争の悲惨さや平和について考える機会となった、今後も取り組みを続けてほしいなどのご意見を頂き、慰霊の日資料展の重要性を再確認するとともに、今後も資料の充実に努め、命や平和の尊さを発信していきたい。	継続実施	A
	平成30年6月1日～平成30年6月22日					
14	夏休み工作教室	子ども達がガラスアートをとおして色彩感覚、創造性を学ぶ。また、工作の楽しさと作品を完成させる喜びを知ると同時に図書館にある関連図書を案内するなど利用促進を図る。	夏休みにおける小学生の宿題(自由研究)をサポートするとともに、作業工程を理解し、工具を使い作品を仕上げる醍醐味を体験させることができた。	講師は子どものやる気を引き出すのが上手で、参加した児童からは、先生にほめられて嬉しかったとの声があった。工具に不慣れな子ども達も意欲的に作品作りに取り組み、完成した作品に大変満足していた。工作教室を通して、今後も図書館を身近に感じてもらい、利用拡大に繋がるよう努力していきたい。	継続実施	A
	平成30年8月8日					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
15	第14回金武町読書フェスティバル	子どもたちの読書活動について関心と理解を深めるとともに、町民の積極的な読書意欲を高めるために、「読書フェスティバル」を開催し読書活動の普及啓発を図る。	読書フェスティバルでは、通常の貸し出し業務と並行し、昨年度完成した絵本「大城孝蔵」の読み聞かせや、しろませいゆう先生の読み聞かせをメインに、クリスマスリース作り、雑誌リサイクル、おたのしみフィッシング(雑誌の付録のプレゼント)を行った。しろま先生の読み聞かせでは、絵本をスクリーンに映しだし、音楽を交えた読み聞かせに、子ども達は真剣に耳を傾けていた。方言クイズでは、子ども達が答えようとおおはしゃぎし盛り上がりを見せ、最後まで楽しんでた。	今年は、雑誌リサイクル以外のすべてのプログラムを午後にまとめて実施することで、最後までフェスティバルに参加してもらおうと企画したが、当日は、町内の幼稚園や小中学校のイベントなど日程が重なり、昨年度に比べて参加者が少なかった。次年度は、各学校のイベントと重ならないよう実施時期を調整し、第15回目となる読書フェスティバルに多くの方に足を運んでもらえるよう計画したい。	継続実施	A
	平成30年10月27日					
	金武町立図書館					
16	絵本de給食	給食の献立に絵本に登場した料理を取り入れることによって、絵本を読む楽しさだけでなく、絵本を味わうことで、もっと読書の楽しさを知って欲しい。町立図書館、給食センター、学校図書館、図書委員とコラボして行うことにより、町をあげて10月の読書月間を盛り上げる。	図書館職員による読み聞かせを見ながら給食を食べてもらうことで、絵本と給食の両方を同時に味わう楽しい時間を提供できた。また、絵本de給食に使用した絵本を図書館でも特別展示し、給食のレシピと一緒に貸し出すことで多くの方に喜ばれ、図書の利用や貸出にも繋がった。	絵本de給食を5回予定していたが、第1回目は台風の影響で中止となり、4回の実施となった。絵本de給食の様子を見に学校に行くと、子ども達からは、今回の給食も楽しみの声があり、子ども達が楽しみにしてくれている事案だと実感した。次年度も引き続き実施し、絵本de給食をとおして、子ども達の読書活動を推進したい。	継続実施	A
	平成30年10月10日、17日、24日、31日					
	町内各幼稚園、町内各小中学校					
17	ぬいぐるみのおとまり会	活字離れと言われる子ども達に、ぬいぐるみが宿泊して図書館を探検するという疑似体験を通し図書館の楽しさを知ってもらうことで、図書館をより身近に感じてもらう。そして本に関心と親しみを持ってもらい、利用の促進を図る。	図書館の中を探検したぬいぐるみが持ち主のために絵本を選書するというサービスを行ない、新しい本との出会いを喜んだ。また、選書した本を貸出すことで、図書館の利用促進を図ることができた。昨年参加した児童の中には、ぬいぐるみが選んだ本を繰り返し何度も借りる姿が見られた。	自分のぬいぐるみが、他のぬいぐるみ達と一緒に泊りをしている様子や、持ち主のために選書している様子をミニアルバムにしてプレゼントすることで、子どもたちに喜ばれた。ぬいぐるみが選んだ本は子ども達にとって特別な本となり、絵本を読むきっかけとなっていることから、次年度も引き続き実施したい。	継続実施	A
	平成31年3月10日					
	金武町立図書館					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
18	世界の絵本とおもしろ絵本展	心を育て、心を支え、心を伝え合う、そんな絵本の魅力を伝え、また、子どもだけでなく、大人にも絵本の持つ「力」を感じてもらえるような読書活動の普及啓発を図る。	絵本総冊数485冊を展示するとともに、貸出も同時に行った。期間中、一日の平均貸出冊数は、約12冊で、合計では、全体の73%の358冊を貸し出した。 絵本展の会場には、世界各国の絵本や、普段見ることのできない大型絵本や飛び出す絵本などを展示し、おとぎの国のような楽しい空間が創られ、ゆったりと絵本を読みながら語り合う親子の姿がたくさん見られた。	職員がアイデアを出し合い、親子でゆったりと過ごせるよう工夫を凝らした研修室には、485冊もの絵本が並べられ、幅広いジャンルの周知とともにそれぞれの持つ特性や魅力を発信することができた。次年度も、ワクワクするような楽しい空間創りを心掛け、様々な本の魅力を発信していきたい。	継続実施	A
	平成31年2月22日～平成31年3月31日					
	金武町立図書館					
19	金武町の偉人「松岡政保」絵本作成	金武町の民話と金武方言を次世代へ継承していくことを目的とし事業を行っている。	今年度作製した絵本『金武町の偉人 松岡政保』は、偉人シリーズ3作目となった。松岡政保の自伝などを参考に、小学校4年生でも理解できる内容を心がけ職員が文章化した。今回は、方言を全編に取り入れるのではなく、松岡政保の話し言葉や思いなど、部分的に金武方言を取り入れることで、読みやすい絵本となった。 絵は、町内イラストレーターの伊芸まもる氏が担当し、当時の人々の生活や松岡政保の功績を、親しみ溢れる絵で表現している。	松岡政保は、戦後アメリカの統治下にあった沖縄を発展させるために努力した本町出身の偉人であるが、その功績はあまり知られていないのが現状である。松岡政保の絵本を作成し、町内の各小中学校や各区公民館、海外町人会などへ寄贈することで、子どもや町民が、いつでも絵本を読み、絵本をとおして理解を深める環境作りができた。	継続実施	A
	平成30年4月1日～平成31年3月31日					
	金武町立図書館					
20	新報児童オリンピック大会陸上競技	スポーツの基礎となる走る・跳ぶ・投げる事とおし、児童の基礎体力の向上と健全な心身の育成を図る。	大会参加チーム中7番目に競技参加者が多く、総合成績も6位と健闘した。事前に行った陸上教室等で高レベルな練習を体験した結果だと考えられる。町引率スタッフに関しても連携がしっかり取れ、選手たちへの指導・配慮が上手いき、スムーズな運営を行えた。	例年と比較して参加人数が減少した。原因として町児童陸上競技大会が中止となり、希望参加としたことが挙げられる。また、例年より募集周知期間が短かったことも原因のひとつなので、余裕を持って周知し、参加者増に繋げたい。	継続実施	A
	平成30年7月28日～平成30年7月29日					
	沖縄県総合運動公園 佐賀県総合ひやごんスタジアム					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
21	平成30年度児童陸上競技教室	新報児童オリンピック陸上競技大会及び金武町陸上競技大会に向けてそれぞれ教室を実施した。講師に元日本記録保持者で日本代表コーチを務める森長正樹氏、県内のみならず全国で活躍する普久里武氏、知念玲亜氏等を招き、講師の実演及び「走る」ことの本格的な技術指導(フォーム、スタート姿勢等)をして頂くことで、町内小学生や町民の技術向上や意識の向上を目指した。	今回は日本記録保持者の森長氏、県内外で活躍する普久里氏、知念氏と陸上界を代表する講師に迎えて教室を開催した。森長氏からの直接の指導や8メートル近いジャンプを間近で見ることができ、子どもたちにとって良い経験となった。普久里氏や知念氏からは、走りの基礎であるフォームや腕の振り方などの技術面のほか、陸上を続けていくうえでの意識面についても指導をいただいた。	実績・経験豊富なアスリートから直接指導していただくことで、子ども達が生き生きと練習する様子が見られた。また、技術面だけではなく、気持ちや意識の面でも指導を受け、今後の競技力、練習意識の向上が期待される。	継続実施	A
	平成30年6月30日 平成30年7月16日 平成30年8月17日					
	金武町陸上競技場					
22	第16回金武町営プール無料開放日事業	開館16周年を記念し、町内外の方に無料でプールを開放し、地域活性化に繋げる。また、町民の基礎体力向上と健全な心身の育成を図り、かつ水泳人口の底辺の拡大に寄与する。	今年139名が来館した。利用者の多くが日頃から利用している方であるが、新規の利用者も少しずつ増えてきている。当日はコースロープを取り外し、広々と利用できるなど普段とは違う雰囲気の中で楽しくプールを利用していた。	町内小中学校の夏休み期間中に開催したこともあり、町内外から多くの方が利用し、大変喜ばれているので、次年度も同時期に開催したい。	継続実施	A
	平成30年7月29日					
	金武町営プール					
23	第8回金武町長杯少年野球大会	町内の少年野球チームに本格的なスタジアムを使用してもらい、野球の技術向上とお互いの親睦を図る。	金武少年イーグルスと金武雄飛の決勝となったが、イーグルスが着実に加点し、大会初優勝に輝いた。町内の少年野球チームにスタジアムで試合を経験させることで、選手間の交流が図られ、レベル向上に寄与する大会となった。	夏休み期間中は別大会が重なったり、その他イベントも多くあるため、日程を再度確認する必要があると思われる。決勝では、球審・塁審ともに審判員の協力をいただいたことで、監督・コーチは試合に専念することができた。	継続実施	A
	平成30年8月4日、5日					
	金武町ベースボールスタジアム					
24	金武町成人ソフトボール大会	町内の成人がスポーツを通して健康増進を図り、社会活動への参加意欲を高めるとともに、参加者相互の親睦とスポーツに対する理解を深めることを目的とする。	今回は金武町ベースボールスタジアムで大会を行なった。参加者は35歳以上の成人ということで、にぎやかな雰囲気の中で大会が行われた。日ごろ体を動かす機会が少ない成人の方々が運動することで健康増進と参加者相互の親睦を深めることができた。	日本で急増するメタボや生活習慣病の予防に欠かせない運動を30代以上の方が行う機会を定期的に設ける必要があると感じた。また、30代、40代、50代各年代の親睦が図れるので、継続して実施し、地域のスポーツ振興に努めていきたい。	継続実施	A
	平成30年11月11日					
	金武町ベースボールスタジアム					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
25	「スポーツに活かすアロマケア」教室	アスリートアロマセラピストの資格をもつ比嘉美樹さん(アロマセラピースクール&サロンoragetree代表)を講師に招き、スポーツをする子どもの為に体のケアの方法を学ぶことでケガをしにくい体作りの手助けとすることや、メンタルケアを学ぶことで、スポーツに対する意識向上を図る。	前半では向上心を高める効果のある『質問トレーニング』などゲーム方式で体験し、メンタルを見直しながら、やる気をうまく引き出す方法を学んだ。後半にはアロマオイルの性質を学んだ後、実際に参加者が選んだアロマオイルを使用して、スポーツ後のアフターケアに活かせるアロママッサージを体験した。	参加者からは、「充実した素晴らしい講座だった」「子どもへの接し方が変わる」とのアンケート回答があった。継続実施の要望もあるため、参加しやすいよう工夫した広報を実施し、参加人数を増やしていきたい。	新規	A
	平成30年11月21日					
	金武町立中央公民館中ホール					
26	小学生水泳教室	【初心者～中級】 プールを利用するためのマナーを身につけ、水を怖がらず自分の命を守る基礎技術を習得する。 【上級】 25mを泳ぎきることができる。高い意識を持って自らの泳ぎを作り上げていく。	初心者から上級者向けに教室を分けることで、生徒たちのレベルに応じた指導が受けられる。最初は水を怖がっていた生徒も回数を重ねるうちに水に慣れ、バタ足ができるようになった。また、泳げる距離が伸び、水中に10秒間潜ることができるようになるなど、基礎技術を習得し、楽しみながら教室に参加していた。	次年度も多くの子ども達が水泳の基礎技術を学べるよう引き続き事業を実施し、子どもたちの水泳技術向上に繋げたい。	継続実施	A
	平成30年4月27日～平成30年8月3日					
	金武町営プール					
27	成人水泳教室・水中運動教室	【成人水泳教室】 初心者から上級者まで、水泳を通して健康に役立てる。 【水中運動教室】 対象者の体力や健康維持を目指し、健康作りに役立てる。	初級者から上級者向けに教室を開催しており、生徒たちのレベルに合わせた教室に参加することで、泳ぎの技法を無理なく修得することができ、多くの生徒の泳げる距離が伸びている。また、水中運動教室の参加者は、水泳教室に参加している生徒も多いこともあり、泳力や体力の向上に繋がっている。	水泳教室や水中運動教室は毎年好評で、すぐに集人数に達するほど人気であるため、次年度以降も継続して実施したい。また、新たな教室の開催や男性が参加しやすい教室の開催などを検討する必要がある。	継続実施	A
	平成30年5月9日～平成31年3月22日					
	金武町営プール					
28	親子スイミング教室	親子のスキンシップ、子どもの心肺機能の発育及び向上を図る。また、同時にプールの楽しさを身につけさせる。	親がプールでの安全な遊ばせ方や、子どもの水の慣れさせ方などを教室で学んでいた。親も子どもと一緒にプール遊びを楽しみ教室に参加していた。	親子教室は今年も大変好評で、すぐに募集人数に達し、参加できない方もいたため、次年度の募集人数について検討が必要である。また、ビート板などが不足したため購入を検討したい。	継続実施	A
	平成30年5月12日～平成30年7月14日					
	金武町営プール					

番号	事業名	事業内容及び目的	事業実績・効果	自己評価並びに今後の課題	総合判断 (継続・改善等)	評価
	実施期日					
	実施場所					
29	金武町3ON3バスケットボール大会	生涯スポーツを通し、成人・青少年を対象に広い分野のスポーツ経験の場を持たせスポーツに対する親しみを感じてもらうとともに、異年齢交流による青少年の健全育成やスポーツキャリアの拡大に寄与することを目的とする。	今年度は参加人数が57名と昨年より参加人数が減少した。小学生の部については昨年度あったオブザーバー参加が無かったことが原因となっている。中学生の部については部活の大会等と重なり、参加が少なかったが、野球部やサッカー一部などの種目が違う生徒が参加していた。	日頃活動している部活動とは違う競技を経験できることは良かった。これをきっかけに多くの人がバスケットボールや他のスポーツに興味を持って参加し、健康な心と身体を作れればと思う。この大会を通して世代間の交流が図られるため、継続して実施し、地域のスポーツ振興に努めたい。	継続実施	A
	平成30年10月28日					
	金武町立体育館					
30	スポーツ体操教室	スポーツ体操を通して子どもたちのスポーツに対する関心・意欲を高めることを目的とする。また、日常では体験しないカラダ遊びを幼児期から行うことで、身体能力向上の手助けとする。	教室ではマブヤースポーツクラブ代表の長嶺浩治氏を講師に迎え、前半はバランスボールやクッション性のある遊具を使用して体全体を動かす遊びを体験した。後半は筋力を使った難易度の高い遊びやバランス力を鍛える遊びを体験した。子どもたちは難易度の高い遊びに自らチャレンジすることで、挑戦する意欲や達成する喜びを学んだ。	応募人数よりも当日の参加者が多く、遊具に不足が生じた。次回は当日参加の人数を見込んで遊具を準備し、補助職員も増員して子どもたち一人ひとりが満足して遊べるよう工夫したい。	新規	A
	平成30年12月15日					
	金武町立武道館					

外部有識者意見

1 外部有識者の意見について

教育委員会の内部評価を終えたあと、評価の客観性を確保するため、学識経験を有する教育委員会外部の者に点検評価結果に関する意見を求めました。外部有識者の構成員及び意見の内容は次のとおりです。

(1) 金武町教育委員会の事務事業の点検・評価委員

氏名	略歴
喜瀬 均	元金武町PTA連合会長(地域教育活動の経験豊富)
仲間 光明	元教育委員会学校教育課長
奥間 宏忠	元金武地区消防長(地域教育活動の経験豊富)

(2) 意見

平成30年度教育委員会の内部評価について、教育長の委嘱を受け外部評価委員会を開催し、教育委員会の活動状況や各種事務事業の評価や課題の把握などについて、資料をもとに課長及び担当者の説明を受け評価を行いました。事業評価にあたっては、事業実施報告並びに自己点検・自己評価表を参考にして事業の取組内容を吟味し計画、目的、効果の達成度に観点をおいて意見をとりまとめましたのでその結果を報告します。

○ 点検評価報告書について

教育委員会議の開催状況については、各案件について慎重に審議がなされていることから、今後も適宜意見を出し合って審議を深めることで適切な意志決定やさまざまな方策を出していただきたいと思えます。

教育委員会主催行事や学校行事等についても全委員が積極的に参加していることがうかがえます。行事等に関わることでにより学校の現状を体感し共有することで教育行政に反映できるとともに学校現場の激励にも繋がることから今後も引き続き関係行事等への積極的な参加を期待します。

○ 事務事業の評価について

事務事業の内部評価(学校教育課16件、社会教育課30件)について点検しました。評価基準として4段階評価を取り入れ「目標・目的」に応じて「実績・効果」を表記し、担当職員は「自己評価、課題」を検証し、事業の達成度について総合判断「継続、改善等」の確認を行い、「A:達成」、「B:概ね達成」、「C:少し達成」、「D:達成できなかった」で評価されています。評価内容は、「A:達成」39件、「B:概ね達成」7件となっています。

全体的な内部評価としては、人材育成や学力向上等に関連したソフト事業、青少年健全育成、生涯学習やスポーツの推進等のさまざまな事業の取組内容や事業成果を評価基準に照らし合わせて学校教育課と社会教育課の事業を点検しましたが、特に意見を要する事業については次のように提言として列記しました。

学校教育課の事務事業の評価内容については、A:11件、B:5件、C・D:0件となっており、取組内容や事業成果をみる限り概ね妥当な自己評価だと思います。

① 金武町ハワイ短期留学派遣事業

今年度実施した金武町ハワイ短期留学派遣事業は、これまで実施してきた海外ホームステイ派遣事業及び金武中学校・ハワイ州カボレイミドルスクール姉妹校交流事業に代わる事業でこれまでと同様に、金武町は海外移民発祥地でありその出身地である生徒たちは誇りを持ち、ハワイ金武町人会家庭でのホームステイや異文化を体験し理解を深め視野を広げたことに意義がある。国際化が進展する今日、それに相応した事業で、国際社会や異文化について興味・関心を持ち、学校生活、将来の進路、海外での活躍や功績を遺した先人に続く人材の輩出に資するものと期待が持てます。課題としては男女間のバランス、派遣人数等課題改善に向けて取り組んでいただきたい。

② 「金武町教育の日」記念式典

「町民の教育に対する意識と関心を高めるとともに、家庭、地域、学校、行政、関係機関がお互いに連携し、地域全体で子どもたちを守り育てる環境づくりへの取り組みを町民全体で推進し、町における教育の充実と発展を図る」事を目的とし、式典への多くの町民参加があり、学校教育課、社会教育課との連携・工夫で集客が図られた事、教育委員会広報「くむ」による啓発等で徐々に多くの町民に認知されてきている。式典での諸活動で功績があった方に対する教育表彰は、個人や関係者に自信と誇りを持たせ、今後の諸活動が更なる充実発展に繋がるもの考える。

③ 金武町子ども議会

子ども議員の、質問や提案に対する答弁書の作成等、事業実施にあたり、学校・役場関係課職員と連携し目的達成に努力し取り組めたことに高く評価できる。
前年度の子ども議会を視聴させ、その上で子供議会に臨むことで子ども議員の関心や意欲を高めている事、再質問が出来た事等、教育委員会広報「くむ」子ども議会特別号からうかがえる、児童・生徒に町の将来像を意識させ政治、行政、経済、文化等に感心を持たせることは大切な事である。緊張感の中、子供議員ならではの視点、疑問、悩み等を聞く機会は貴重で、これまでの要望等に色々応えてきた行政側の誠実な姿勢に信頼がうかがえる。

④ 学校給食(食育)推進事業

栄養士による、朝ごはんの大切さ等、食育に関する講話をすることにより、児童に食生活の大切さ、食品の安全知識、衛生面、食事マナー等考えてもらう良い機会であり食生活の乱れ等の改善に繋がることを期待したい。今後も、児童・生徒・保護者に対し栄養教諭・学校栄養士による食育に関する講話や「給食だより」等、食育に関する情報を継続発信していただきたい。

⑤ 幼稚園預かり保育事業

就労している保護者の子育て支援事業がスムーズに実施されている。

⑥ 金武中学校通学費助成事業

中川・伊芸・屋嘉区の生徒への定期券を支給し保護者の負担軽減に繋がり、バス料金の支援から定期券支給に変えたことで車通学等の課題改善が図られ、生徒の土日・祝日の部活動等にもバス利用が可能となり利便性を含め、対象となる全生徒に定期券の交付が出来た事等、健全に運用されている。ただし3か月に1度の定期券引き換えに来ない生徒やその保護者への対応に苦慮していることがうかがえる、繰り返す家庭への周知等今後の工夫が必要とされる。

⑦ 学校給食費助成事業

子育て支援、保護者の負担軽減の一助となっている。ただ一部の保護者が交付申請書を提出しない等、対応策に苦慮していることから、交付申請しない保護者への周知等継続した取り組みを行うことが必要とされる。

⑧ 英語教育指導員派遣事業

英語教育課程特例校事業の実施に伴い、各小学校・中学校にALT(外国語指導助手)やJTE(日本人英語指導員)を配置し学級担任とのチームテイングによる英語活動を通して、小学校段階から異文化や、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や、興味関心を高め国際性に富んだ児童・生徒の育成を推進している。

平成27年度からスタートした英語教育課程特例校事業報告書からも小学校で「英語に触れる・慣れる・親しむ・使う」を目標に設定し、中学校においても英会話科を設置し言葉や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成、聞く事、話す事を中心とした英会話能力の基礎を養う事を目標として取り組んでいる。小学校では英会話活動、学齢に相応した目標、中学校においては英会話能力の基礎を養うことを目標に英会話科を設け、併せて小中連携で相互に学ぶ機会を設け、小学校から中学校へのスムーズな接続を見据えた取り組みを図るなど、小中連携の態勢が取られている。又、ALT・JTEそれぞれの良さや強みを効果的に活かせるような授業展開に繋げる英語コーディネータの役割に期待が持てる。また、アンケート結果等から同事業の成果がうかがえる。英語検定(Jr)の実施は学習意欲の高まり等、良い学習環境に繋がっていると思われる。

⑨ 金武中学校受験生支援教室

参加率や利用マナー等昨年に比較し向上したこと、参加者全員が合格した事は、事務局、講師の努力によることがうかがえる、また、大学との連携でより良い繋がりを持たせた運営等は一考の価値がある。ただ、スマホの持ち込み、保護者の路上駐車等は、改善できるが、講師である大学生の講義終了時間を考慮しなければならない事、教室の開始時間等、安定的な講師確保等には厳しいものがある。

⑩ 特別支援教育支援員等配置事業

町内小中学校における、心身に障害のある児童生徒に対し特別支援教育支援員等配置することにより、支援を必要とする幼児・児童生徒に適切で良い支援に繋がっている。年々支援を必要とする幼児・児童生徒の増加に伴い特別支援教育支援員確保については厳しいものがあると思うが、継続的に配置することにより、幼児・児童生徒の学習環境の充実、教育の機会均等に繋がる。

⑪ 就学援助事業(要保護・準用保護)

困窮家庭の小中学生が経済面に不安なく義務教育を受けられる事に教育の機会均等が図られている。就学援助費の申請等各家庭への郵送により周知強化が図られたことは、良い事である。入学前等の援助費の支給については、町民税の確定時期が異なるので厳しいものがあるが、支援ができるよう取り組んでいただきたい。

⑫ 金武町育英資金貸付事業

本事業により、修学が困難な方を支援することは社会の発展に有益な人材の育成に寄与するものであり評価できる。長期滞納者の改善には、厳しいものがあるが、今後も粘り強く通知文、電話連絡、家庭訪問等で改善を図ってもらいたい。

⑬ 教育相談員配置事業

不登校等の児童生徒は、家庭の事情等、複数の要因が絡んでいる。各学校から早期の情報提供、情報交換で速やかに対応できた事、連携が強化されたことは、評価できる。家庭に課題のある子供や保護者の悩みや相談事に対応する教育相談員の時間外相談も多く負担も大きいと思われるが、相談員配置は重要であり、諸問題の解決に向けてスクールソーシャルワーカー(SSW)が教師や生徒の相談窓口となり、特別支援教育推進員、教育相談員、外部専門機関、学校や地域との連携や協力を得て取り組むことがより良い教育相談に繋がると考える。

⑭ 学びの基礎学力アドバイザー事業

町内保育園、こども園、幼稚園、小学校、中学校教育への接続の重要性を鑑み円滑な移行を図るため、相互の連携体制を構築する事は大切な事である。アドバイザーの配置により、保こ幼小中合同研修会や中学生の保育体験等、相互連携に良い成果がでている。今後も教育課程等の課題もあるが、保こ幼小中に係わる関係課、保育士・教諭等の連携を密にし教育の充実に繋げていただきたい。

⑮ 教育委員会広報「くくむ」編集(発行)事業

「教育の日」の制定と併せて教育委員会広報「くくむ」は町民に教育へ興味・関心を持たせる良い機会になっている。子どもたちや学校の活動・活躍・現状や社会教育事業、活動等が掲載されている。また教育委員会(学校教育・社会教育)の現状や課題等についての理解や考え等がより正しく伝わっていると考え。今後もバランス等、工夫を凝らしてより良い「くくむ」作りに努めていただきたい。

⑯ 小中学校少人数学級(35人)学級編成事業

少人数学級編成によるきめ細かでのより良い教育が展開出来ている事で学力の定着と向上が図られている。教諭免許取得者の人材確保や県費と町費の格差、学習環境整備等の課題はあるが、課題改善に向け学校と連携を図り人材確保、学習環境整備に努めていただきたい。

社会教育課の事務事業の評価内容については、A:28件、B:2件、C・D:0件となっています。ほとんどの事業が町民を対象とした規模の大きいものであることから、企画力と実行力が求められます。取組内容や事業成果をみる限り概ね妥当な自己評価だと思いますが、一部事業について意見を申し添え致します。

① 金武町放課後子ども教室事業

核家族化などによる地域のつながりが弱まりつつあるなか、学校を終えて地域に帰る子どもたちの居場所確保や立ち寄る場所で学び会う空間や時間を作り、地域の大人がかかわる多様な体験プログラムが体験できる環境は健全でより良い地域のつながりが生まれると期待が持てる。充実した環境を整備するためにも、今後の課題はボランティアの確保が必要とされる。

② 家庭教育講座

現代社会で情報モラルが問われる事案などが増えている。スマートフォン、インターネットによる配信などでトラブルが多発しており、その情報が被害者・加害者になり得るという事態に陥ることもある。「情報モラル教室」や二次性徴に関する講演等を通して児童生徒たちに啓発させる機会になっていると思われます。今後も数多く起こるトラブルに対応するための方法を学ぶ機会を設けて欲しい。

③ 平成31年金武町成人式

数年前より、金武町成人式が変わり良くなっています。

存在感や影響力などを持ち合わせた町青年団協議会と新成人実行委員の連携で成人式を運営してきたことが新成人のマナーも良くなってきたと思います。今後の更なる課題改善に向けた取組を望みます。

④ 中央公民館事業

各種18講座を実施し、多種多様な内容の講座は町の生涯学習に寄与していると思われます。

今後も町民ニーズに合った講座を取り込み、若年層や男性の参加率が少なく、利用者がまだまだ少ないので多くの町民が参加できるように努力して頂きたい。

⑤ 中央公民館公演事業

ここ数年、町立中央公民館大ホールでの公演事業に多くの町民が見に来られるようになりました。

今後も町民のニーズに合った公演事業を期待します。来場者のマナー改善に向けて検討してほしい。

⑧ 金武町民俗芸能祭

各区に残っている伝統的な民俗芸能を披露や鑑賞する場を設けることにより、各区保存団体の発展強化につながると思われる。

来場者も町内、町外から年々多くなっており今後も継続事業として取り組んでもらいたい。

⑬ 「慰霊の日」資料展

沖縄戦の記憶を風化させないことや平和を願い求めることを目的として、毎年テーマを変えて図書館職員が独自で作成した展示資料を充実発展させている「慰霊の日」資料館の開催は、町民や小学生への平和学習にも取組目的に合った事業であり、今後も多くの町民が利用することを望みます。平和学習の一環として小学校・中学校との連携で、より良い平和学習になっていくことを期待します。

⑩ 絵本de給食

子どもたちが、絵本に乗っている食べ物が、学校給食で再現して出てくることで絵本の興味を持ち料理にも関心を持つことによって、子どもたちに読書の楽しさを知らせる良い事業であると思います。今後も継続して取り組んで行って欲しいと思います。

⑩ 新報児童オリンピック大会陸上競技

健全な心身の育成を図り、あらゆるスポーツの基礎となる陸上競技事業の取組に感謝したい。世界で活躍するトップアスリートを招き児童が実際に接触し、体験した事は大きな財産となり意識向上に繋がったと考えられる。その効果として昨年の総合成績10位から6位入賞と順位を上げ、着実に効果が出ていると思われる。残念なのが参加人数の減少である。大きな大会を経験する事で感動を覚え自信に繋がる事から、一人でも多くの児童を素晴らしいスポーツの世界に導く事に期待したい。

⑪ 陸上教室

雨天の為競技が中止になった中で、日本代表コーチの指導を受け、更にトップクラスの現役選手のジャンプを目の当たりにし肌で感じた事は、児童にとって大きな刺激となり個々のレベル向上に繋がったと考えられる。今後の継続に期待したい。

⑫ 金武町営プール無料開放日事業

無料開放を実施する事により、気軽に利用する児童が増え、基礎体力向上、心身の育成等の健康増進となり、地域活性化に繋がる事から良い取組だと考えられる。また、安全管理等に対する監視設備の向上に期待します。

⑬ 金武町長杯少年野球大会

ベースボールスタジアム落成記念大会で、公式野球場で試合体験した事は児童にとって将来大きな意義を持つと考える。また夏休み期間中、他のイベントがある中で日程等の調整に苦慮したのがうかがえる。役員・審判には感謝すると共にこれからも野球処金武町の野球少年の発展に繋がるよう継続することを期待します。

⑭ 金武町成人ソフトボール大会

地域の働き盛りの成人を中心に、日頃運動不足を解消する事で生活習慣病の予防対策、更に各区間の親睦を目的とした当事業、これからも執行部には大会を盛り上げ、生活習慣病の減少に繋げる事に期待します。

⑮ スポーツアロマ教室

様々なアスリートにとって怪我をしにくい体は理想であり、さらにメンタルケアも学べ、保護者指導者も参加できる当教室は貴重と考えられる。スポーツ好きの町民が一人でも多く参加しやすい環境を整える事に期待したい。

⑯ 小学生水泳教室

海に囲まれた沖縄、いつでもいける距離にありながら沖縄県民は泳げない人が多いと言われています。遊泳水泳の楽しさ、水の恐さを知り自分の命を守る技術の習得を児童時から身につける当教室は貴重と考えられる。

⑳ 成人水泳教室・水中運動教室

成人水泳教室で健康作りに企画した事業。

プールでの運動は有酸素運動・筋力トレーニングどちらの要素も兼ね備えていて、健康増進に有効とされています。

昼の部・夜の部に分かれ事業計画が安定しているのがうかがえる事から、スタッフを評価したい。また、新たな教室開催や町民が参加しやすい環境づくりの取組にも期待したい。

㉑ 親子スイミング教室

水中での親子のスキンシップは、子供の心身発達に繋げる事や、免疫向上など医学的側面からも注目されている事から、今後は1組でも多くの親子が参加できる事や資機材確保などの環境作りに期待します。

㉒ 金武町3ON3バスケット大会

青年・青少年を対象に異年齢交流による健全育成を目的とした、当大会。

近年沖縄県はバスケットボール人気が高まっている事もあり、大会を通してバスケットボールの楽しさや魅力に触れ、日頃の運動不足解消に繋がると共に、競技人口増に繋がる事に期待したい。

㉓ スポーツ体操教室

1歳半～5歳までの児童にスポーツ体操を通して、幼少期にバランスの取れた身体・発育を目的に取り入れた当事業を推奨したい。生涯にわたって運動やスポーツに親しむ素養を身に付けて、様々な運動を体験する事で健康と安全に生きていく上での身体能力や知識を幼少期に身に付ける事が大切である事から、複数回の開催に期待します。

(3) 結びに

今回、教育委員会、事務局担当職員が事業展開する上で事業内容・目標を設定し、取り組んだ事業ごとに内部評価したことは今後におけるPDCAサイクル「計画(Plan)」「実行(Do)」「評価(Check)」「改善(Action)」定着に繋がる。このサイクルに沿って事業実施することで職員の意識改革を促し個々の事業改善が図られることが期待される。次年度以降の事業展開としては方向性が示され課題克服しつつ改善を積み重ね継続実施していくことで多様化していく町民のニーズに応え得る教育行政ができることに内部評価の意義がある。また、新たな事業や継続事業においても、現行の考え方や手法に囚われる事無く先進事例や地域の要望を取り入れて進めていただきたい。

外部評価を行うにあたり住民目線ですできるだけ客観的に検討させていただき提言しました。そのことによって今後の事業の推進及び改善に向けての一助になることを期待し報告と致します。